

No.	021	—	1016	事務事業名	教育委員会事務局事務										公的関与	2
-----	-----	---	------	-------	------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	------	---

PLAN	課 名	学校教育課		係 名	総務係		電話番号	089-964-4420		メールアドレス	gakkokyoiku@city.toon.lg.jp			
	事業区分	内部管理事務・その他		事業運営方法	直営		実施計画	非該当		事業期間	年度 ～ 期間設定なし			
	総合計画	政策目標 ※ 該当なし		政策項目					主要施策					
	事業の目的	教育委員会事務局の運営を円滑に行うため。					根拠法令等	東温市教育委員会後援等取扱要綱、東温市財務規則 等						
	事業の手段	適切で速やかな事務手続を実施します。					掲載計画							
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	最終目標			
		スクールサポートスタッフ配置に効果があったとする教員割合		教員へのアンケート		%		目標	80	80	80	90		
								実績	83	86				
								目標						
								実績						

DO	活動内容	①	教育委員会会計年度任用職員人事事務					④					
		②	後援名義の使用許可事務					⑤					
		③	教育長交際費支出事務										
	予算費目	会計	一般会計				費目名	教育				費	
	直接事業費		令和 5 年度決算		令和 6 年度決算		令和 7 年度予算		備 考				
		国・県支出金	0 千円		0 千円		0 千円						
		地方債	0 千円		0 千円		0 千円						
		その他特定財源	0 千円		0 千円		0 千円						
		一般財源	125 千円		132 千円		152 千円						
		計(A)	125 千円		132 千円		152 千円						
人件費(B)	正職員工数・経費	1.817 人	11,513 千円	1.872 人	12,052 千円	1.872 人	12,052 千円						
	臨時職員工数・経費	0.076 人	159 千円	0.076 人	170 千円	0.076 人	170 千円						
全体事業費(A+B)		11,797 千円		12,354 千円		12,374 千円							

CHECK・ACTION	一次評価者	総務係		総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	現状維持
	項目	評 価 項 目 の 説 明 (一次評価者のコメント)													
	必要性	教育委員会事務局が管轄している保育所、幼稚園等の教職員人事、後援申請等に関しては、公平性・公正性を保つために不可欠な事務であると考えます。													
	有効性	市が実施する類似した事務事業は存在せず、教育委員会事務局の運営を円滑に行うためには、有効であると考えます。													
	達成度	概ね適切で速やかな事務処理ができていますと考えます。													
	効率性	令和6年度から口座振込手数料削減のため、旅費(費用弁償)を半年分まとめて支払処理をしています。													
	当面の課題	教育委員会事務局事務のほとんどの業務は、現状維持で問題無いと考えます。 しかし、令和8年度会計年度任用職員の4月採用試験は、教育委員会のほぼ全員の300人程度が公募による受験を行う予定のため、試験申込書の受付や試験通知等の事務量が膨大になり処理が煩雑になる見込みです。													
	改 革 計 画	令和8年度会計年度任用職員の4月採用試験は、事務量が膨大になるため、総務課人事係と連携を図り、電子化などにより効率的に行えるよう検討する必要があります。													
	二次評価者	学校教育課長		総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	現状維持
	二次評価での指摘事項		令和8年度会計年度任用職員の採用試験については、膨大な事務量が予想されるため、試験の方法や時期等に関して、総務課人事係と連携し、また他市町から実施状況を情報収集するなどし、効率よく採用試験を行うことが求められます。												

No.	021	—	2005	事務事業名	登下校通知システム保守管理事務										公的関与	9
-----	-----	---	------	-------	-----------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	------	---

PLAN	課 名	学校教育課		係 名	学事係		電話番号	089-964-4420		メールアドレス	gakkokyoiku@city.toon.lg.jp				
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	全部委託		実施計画	非該当		事業期間	平成	18	年度	～	令和6年度
	総合計画	政策目標	4 心豊かに学びあう文化創造のまち				政策項目	主要施策							
	事業の目的	児童の登下校情報を保護者へ通知することで、子どもの安全確認やコミュニケーションツールとして利用するため。						根拠法令等							
	事業の手段	児童が校舎内に設置しているICカードリーダーにICカードをかざすことで、保護者のメールアドレスへ自動で登下校時刻を通知するシステムの保守管理を行います。						掲載計画							
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由				単位		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	最終目標		
		利用者割合		全児童のうち、利用を希望する保護者の割合				%		目標	10	10	—	10	
										実績	9	4			
										目標					
										実績					
								目標							
								実績							
DO	活動内容	①	利用希望者とりまとめ					④							
		②	保守委託料等支払い					⑤							
		③													
	予算費目	会計	一般会計				費目名	教育				費			
	直接事業費		令和 5 年度決算		令和 6 年度決算		令和 7 年度予算		備 考						
		国・県支出金	0 千円		0 千円		0 千円		令和6年度事業終了						
		地方債	0 千円		0 千円		0 千円								
		その他特定財源	0 千円		0 千円		0 千円								
		一般財源	226 千円		337 千円		0 千円								
		計(A)	226 千円		337 千円		0 千円								
人件費(B)	正職員工数・経費	0.122 人	773 千円	0.122 人	785 千円	0.000 人	0 千円								
	臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円								
全体事業費(A+B)		999 千円		1,122 千円		0 千円									
CHECK・ACTION	一次評価者	学事係		総合評価点	D	必要性	1	有効性	3	達成度	2	効率性	1	今後の方向性	廃止/休止
	項目	評 価 項 目 の 説 明 (一次評価者のコメント)													
	必要性	利用希望者数が減少していることから、ニーズが低下していると考えられます。													
	有効性	登下校時刻をリアルタイムで保護者に通知する システムは、現状他にはなく、目的に対する貢献度は高いです。													
	達成度	各年度ごとの全児童数に対する利用者割合は減少傾向にあります。													
	効率性	利用希望者数が減少すると市の費用負担が増加するため、効果に対してのコストが増加しています。													
	当面の課題	当事業は保護者からのニーズが低下しており、また、近隣の自治体と比較してもニーズを上回るサービスとなっていたことから、事業廃止となりましたが、登下校を安全に行うための取組については、引き続き行っていく必要があります。													
	改 革 画	登下校の安全性向上のため、危険箇所を洗い出し、それぞれの危険箇所に応じた対策を講じていきます。													
	二次評価者	学校教育課長		総合評価点	D	必要性	1	有効性	3	達成度	2	効率性	1	今後の方向性	廃止/休止
	二次評価での指摘事項		登下校中における子どもの安全確保を図るため、関係機関と連携して効率的、効果的な対策手法の確立とともに、更なる安全対策の向上に取り組む必要があります。												

No.	021	—	2022	事務事業名	特別支援教育事業										公的関与	4
-----	-----	---	------	-------	----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	------	---

P L A N	課 名	学校教育課		係 名	学事係		電話番号	089-964-4420		メールアドレス	gakkokyoiku@city.toon.lg.jp				
	事業区分	経常的事務事業			事業運営方法	直営		実施計画	非該当		事業期間	年度 ～ 期間設定なし			
	総合計画	政策目標	4 心豊かに学びあう文化創造のまち			政策項目	1 学校教育の充実			主要施策	5 特別支援教育の充実				
	事業の目的	特別な支援を要する児童・生徒に対し、個々に応じたきめ細やかな支援を行い、次の段階につなげていくため。						根拠法令等	学校教育法						
	事業の手段	巡回相談や教育相談、研修会を実施し、専門性の向上を図ったり、学校生活支援員を配置し支援体制を整備します。						掲載計画	教育基本方針重点施策						
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由				単位		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	最終目標		
		学校生活支援員配置		学校生活支援員の配置人数				人	目標	38	38	38	38		
									実績	38	38				
									目標						
									実績						
							目標								
							実績								
D O	活動内容	①	学校生活支援員の配置						④	通級指導教室の充実					
		②	特別支援教育相談実施						⑤						
		③	特別支援教育研修会・講演会の開催												
	予算費目	会計	一般会計				費目名	教育				費			
	直接事業費		令和 5 年度決算		令和 6 年度決算		令和 7 年度予算		備 考						
		国・県支出金	0 千円		0 千円		0 千円								
		地方債	0 千円		0 千円		0 千円								
		その他特定財源	0 千円		0 千円		0 千円								
		一般財源	26,522 千円		40,233 千円		67,264 千円								
		計(A)	26,522 千円		40,233 千円		67,264 千円								
人件費(B)	正職員工数・経費	0.723 人	4,581 千円	0.723 人	4,655 千円	0.723 人	4,655 千円								
	臨時職員工数・経費	31.250 人	65,406 千円	31.250 人	69,844 千円	31.250 人	69,844 千円								
全体事業費(A+B)		96,509 千円		114,731 千円		141,762 千円									
C H E C K ・ A C T I O N	一次評価者	学事係		総合評価点	B	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	2	今後の方向性	拡大・充実
	項目	評 価 項 目 の 説 明 (一次評価者のコメント)													
	必要性	特別な支援が必要な児童生徒は増加傾向にあり、各学校の状況に応じてきめ細やかな支援を行うために、学校生活支援員の配置や専門家による指導助言が必要です。													
	有効性	教職員の専門性向上に係る研修会・講演会の実施方法や実施回数を見直す必要があります。													
	達成度	各学校の状況に応じて、学校生活支援員を配置していますが、特別な支援を必要とする児童生徒は増加傾向にあるため、増員を検討する必要があります。													
	効率性	会議の内容や適切な実施回数等を検討し、関係者の負担軽減やコスト削減を図る必要があります。													
	当面の課題	特別な支援を必要とする児童生徒が増加傾向にあるため、現在の学校生活支援員の配置では不十分だと考えます。通級指導教室が設置されていない学校では、他校通級を行っているため、通級による指導を受けづらくなっていると考えます。													
	改 革 計 画	学校生活支援員の適正配置に努めます。通級指導教室設置校の担当教諭が未設置校を訪問する「巡回通級」の実施を検討します。													
	二次評価者	学校教育課長		総合評価点	B	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	2	今後の方向性	拡大・充実
	二次評価での指摘事項	支援が必要な児童生徒が増加傾向にありますが、多様化するニーズに対応し、更に充実した学校生活を送ることができるよう、引き続き、特別支援教育の充実を図る必要があります。													

No.	021	—	2060	事務事業名	対外試合校外活動事業補助金										公的関与	9
PLAN	課 名	学校教育課		係 名	学事係		電話番号	089-964-4420		メールアドレス	gakkokyoiku@city.toon.lg.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	補助等		実施計画	非該当		事業期間	年度		～	期間設定なし		
	総合計画	政策目標 ※ 該当なし			政策項目							主要施策				
	事業の目的	校外で学習する機会や、競技会の参加で技能向上と児童・生徒相互の交流を図る機会を確保するため。					根拠法令等	東温市学校教育振興事業費補助金交付要綱								
	事業の手段	児童・生徒が参加する対外試合や校外活動に係る交通費等を補助します。					掲載計画									
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	最終目標				
		申請書等処理		処理件数			件	目標	—	—	—	—				
								実績	54	61						
		支払業務		支払額			千円	目標	—	—	—	—				
								実績	10,779	9,476						
DO	活動内容	①	申請書等処理				④									
		②	支払業務				⑤									
		③														
	予算費目	会計	一般会計				費目名	教育				費				
	直接事業費		令和 5 年度決算		令和 6 年度決算		令和 7 年度予算		備 考							
		国・県支出金	0 千円		0 千円		0 千円									
		地方債	0 千円		0 千円		0 千円									
		その他特定財源	0 千円		0 千円		0 千円									
		一般財源	10,779 千円		9,476 千円		14,346 千円									
	計 (A)	10,779 千円		9,476 千円		14,346 千円										
人件費 (B)	正職員工数・経費	0.201 人	1,274 千円	0.348 人	2,240 千円	0.348 人	2,240 千円									
	臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円									
全体事業費 (A + B)	12,053 千円		11,716 千円		16,586 千円											
CHECK・ACTION	一次評価者	学事係		総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	現状維持	
	項目	評 価 項 目 の 説 明 (一次評価者のコメント)														
	必要性	全ての児童・生徒に校外で学習する機会や、競技会に参加する機会を確保するためには、当補助金が必要です。														
	有効性	補助金の活用により児童・生徒の学びの場を広げると共に、保護者の金銭的負担を軽減することができており、有効であると考えます。														
	達成度	市所有のバスを活用することで、補助金の削減にも取り組んでおり、効率的に事業が実施できています。														
	効率性	年間の補助件数が多く、紙媒体での手続を電子データでの手続きにすることで、処理時間の削減に取り組んでいます。														
	当面の課題	物価高騰により、交通費等が上昇しており、事業費の増加が課題となっています。														
	改 革 計 画	市有バスを積極的に活用することで、事業費の削減を行っています。しかし、市有バスの老朽化により、故障が発生しており、その際の対応が新たな課題となっています。														
	二次評価者	学校教育課長		総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	方法改善	
	二次評価での指摘事項	児童生徒の健全育成を目的とした諸活動を支援するための事業であり、有効的に活用されていると考えられるため、財政面を考慮しつつ、事業を継続することが求められます。														

No.	021	—	2071	事務事業名	学校ICT整備事業										公的関与	1
PLAN	課 名	学校教育課		係 名	学事係		電話番号	089-964-4420		メールアドレス	gakkokyoiku@city.toon.lg.jp					
	事業区分	ハード事業		事業運営方法	一部委託		実施計画	該当		事業期間	令和 2 年度 ～		期間設定なし			
	総合計画	政策目標	4 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	1 学校教育の充実		主要施策		3 確かな学力を育てる教育の推進						
	事業の目的	GIGAスクール構想により導入した児童生徒1人1台端末の活用推進と情報通信技術 (ICT) を利用した校務情報化による教職員の働き方改革推進のため。						根拠法令等	学校教育の情報化の推進に関する法律							
	事業の手段	デジタルドリル教材や授業支援システムの導入、ICT支援員の配置、情報通信機器の整備等を行います。						掲載計画	東温市教育大綱							
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	最終目標					
		児童生徒1人1台端末の整備率		GIGAスクール構想掲載の整備率		%		目標	100	100	100	100				
								実績	100	100						
		ICT支援員の配置校		GIGAスクール構想掲載の配置率		校		目標	9	9	9	9				
								実績	9	9						
DO	活動内容	①	デジタルドリル教材、授業支援システム、フィルタリングサービスの利用				④									
		②	1人1台端末、校務用端末、校内ICT機器の整備				⑤									
		③	校内通信ネットワークの整備													
	予算費目	会計	一般会計				費目名	教育				費				
	直接事業費		令和 5 年度決算		令和 6 年度決算		令和 7 年度予算		備 考							
		国・県支出金	2,362 千円		1,248 千円		0 千円									
		地方債	0 千円		0 千円		0 千円									
		その他特定財源	0 千円		0 千円		0 千円									
		一般財源	115,480 千円		108,202 千円		115,961 千円									
	計 (A)	117,842 千円		109,450 千円		115,961 千円										
人件費 (B)	正職員工数・経費	0.707 人	4,480 千円	0.572 人	3,683 千円	0.572 人	3,683 千円									
	臨時職員工数・経費	0.006 人	13 千円	0.006 人	13 千円	0.006 人	13 千円									
全体事業費 (A + B)		122,334 千円		113,146 千円		119,657 千円										
CHECK・ACTION	一次評価者	学事係		総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	拡大・充実	
	項目	評 価 項 目 の 説 明 (一次評価者のコメント)														
	必要性	国が進めるGIGAスクール構想に基づき、全国で教育のICT化が求められています。厳しい財政状況ではありますが、児童生徒への情報教育推進のためICT環境整備は必要です。														
	有効性	児童生徒用1人1台端末導入から5年を迎え、教室では毎日端末を利用する程浸透しています。現在の教育現場におけるICT機器は、えんぴつや消しゴムといった文具と同程度の必需品であり、有効です。														
	達成度	デジタルドリル教材や授業支援システム、校務支援システム、ICT支援員などは教育の質的向上のみならず、業務効率化による教職員の働き方改革にも寄与しています。														
	効率性	現在導入している機器等の更なる利活用を進めることで、より児童生徒の情報活用能力向上が期待できるとともに、教職員の残業時間の削減が期待できます。														
	当面の課題	令和2年度に導入した1人1台端末は令和7年度末に更改するため、多大な経費が必要です。国、県及び学校現場には未だに「紙文化」が残っています。														
	改 革 計 画	1人1台端末の更改は県共同調達に参加し、国基金を充当します。また、校務DXを推進するためには些細な紙面作業も逃さず電子化できないか検討をするなど、継続して働きかけていきます。														
	二次評価者	学校教育課長		総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	拡大・充実	
二次評価での指摘事項		各学校の授業において、様々な工夫を凝らして一人一台端末を利活用しています。引き続き教員の指導力向上研修や環境整備を充実させて主体的、対話的で深い学びの実現を推進していく必要があります。														

No.	021	—	2085	事務事業名	部活動地域移行事業										公的関与	8
PLAN	課 名	学校教育課		係 名	学事係		電話番号	089-964-4420		メールアドレス	gakkokyoiku@city.toon.lg.jp					
	事業区分	補助金・負担金・支援		事業運営方法	全部委託		実施計画	該当	事業期間	令和 6 年度	～	令和13年度				
	総合計画	政策目標※ 該当なし				政策項目					主要施策					
	事業の目的	中学生世代がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保するとともに市立中学校における働き方改革を早期に実現するため。						根拠法令等	学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン							
	事業の手段	できる範囲で地域に文化スポーツ活動の受け皿を確保し、中学校部活動の地域展開を図ります。						掲載計画	東温市部活動地域移行推進計画							
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由				単位		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	最終目標			
		部活動地域展開に取り組む学校数						校	目標	0	1	1	2			
									実績	0	0					
									目標							
									実績							
DO	活動内容	①	部活動関係者(生徒、顧問、保護者、地域団体)が参画する熟議の開催					④								
		②	市教委を通じて部活動を指導する指導者(団体)の登用					⑤								
		③	教職員の兼職兼業推進による地域クラブの新設や運営													
	予算費目	会計	一般会計				費目名	教育				費				
	直接事業費		令和 5 年度決算		令和 6 年度決算		令和 7 年度予算		備 考							
		国・県支出金	44 千円		0 千円		0 千円		令和5年度は事務局一般管理費より支出							
		地方債	0 千円		0 千円		0 千円									
		その他特定財源	0 千円		0 千円		0 千円									
		一般財源	44 千円		817 千円		1,596 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.446 人	2,826 千円	0.223 人	1,436 千円	0.223 人	1,436 千円								
臨時職員工数・経費		0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円									
全体事業費(A+B)		2,914 千円		2,253 千円		3,032 千円										
CHECK・ACTION	一次評価者	学事係		総合評価点	B	必要性	4	有効性	3	達成度	2	効率性	3	今後の方向性	現状維持	
	項目	評 価 項 目 の 説 明 (一次評価者のコメント)														
	必要性	文部科学省「地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議」において、令和13年度末までに全ての部活動において、休日の地域展開を実現するよう示されています。														
	有効性	部活動を廃止することで教職員負担は軽減しますが、生徒の文化スポーツ活動機会は縮小されます。財源が限られる中、効果を最大化するためには個別案件ごとの検討が求められます。														
	達成度	家庭の生活リズムを変えずに部活動改革を進めるには、例示される解決案を実践して事例を増やしていく必要があります。														
	効率性	受益者負担を前提に各地域クラブが指導を行う体制を構築していくことが中長期で考えると効率性があると考えます。継続して学校、生徒、保護者、地域団体等と課題認識を共有し、効率性を高めます。														
	当面の課題	放課後1～2時間の有効利用は保護者ニーズが高い一方で、教職員の働き方改革も急務です。市教委から部活動自体の段階的な廃止を明示していないことで、学校現場では部活動廃止に踏み出すことができていません。														
	改 革 計 画	部活動地域移行検討協議会の意見を踏まえながら、地域クラブや指導者の確保、部活動自体の段階的な廃止を明示するよう検討します。														
	二次評価者	学校教育課長		総合評価点	B	必要性	4	有効性	3	達成度	2	効率性	3	今後の方向性	現状維持	
	二次評価での指摘事項		部活動地域移行に関しては事業を進めて行く上で指導者や地域クラブの確保等、様々な課題があります。今後、部活動地域移行検討協議会の意見を踏まえながら、部活動廃止に向けた段階的な計画を示し、中学校と連携して部活動の地域移行を進めていく必要があります。													